

ひと・夢・まち 町長コラム

空き家（令和5年10月号）

前回に続き空き家についての思いです。振り返ってみますと、空き家のことを戸（子）と表現し、まちづくりの課題の一つとして捉え、就任時から対策を講じてきました。

「わが町に 現在150戸以上のアキヤが生息している

あの戸もこの戸も 人間が造った生き物である

ただ、自ら動くことはできない 静かに佇んでいる

彼らには歴史と文化の匂いがする

ただ、時が進むにつれ病んでくる

決して死んでいるわけではない

…………… 中略 ……………

いま ひっそりと佇んでいるあの戸もこの戸にも

もう一度 息づかせるチャンスを与えたい

もう一度 彼らも生きたいと思っている

アキヤは まちにとって負の財産ではない

アキヤを元気にして まちも元気にして

人も楽しくなる

アキヤ・空き家は まちの財産です」

コラム2015年10月号より

空き家問題は深刻です。現在空き家は増え続け、全国には1千万戸以上の空き家が存在するとの調査結果が出ています。町としても空き家バンク制度を作り、移住対策にも力を入れているところです。国の制約、個人の権利等でなかなか進まない現状にありますが、今後とも力を入れていきます。来年4月からは相続登記義務化がスタートします。空き家でお悩みの方は、まず空き家バンクへの登録をお願いします。